



2018年10月30日

各 位

会社名 理研ビタミン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山木 一彦
 (コード番号4526 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 佐藤 和弘
 (TEL 03-5275-5111)

2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年7月31日に公表しました2019年3月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2019年3月期通期連結(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異(2018年4月1日～2018年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 43,500 | 2,900 | 2,750 | 2,100 | 128.12 |
| 実績(B) | 43,801 | 2,306 | 2,150 | 1,555 | 94.91 |
| 増減額(B-A) | 301 | △593 | △599 | △544 | |
| 増減率(%) | 0.7 | △20.4 | △21.8 | △25.9 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期) | 43,328 | 3,378 | 2,942 | 2,039 | 125.31 |

2. 2019年3月期通期連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 92,000 | 6,400 | 6,100 | 4,500 | 274.54 |
| 今回修正予想(B) | 92,000 | 5,200 | 4,900 | 3,400 | 207.43 |
| 増減額(B-A) | — | △1,200 | △1,200 | △1,100 | |
| 増減率(%) | — | △18.8 | △19.7 | △24.4 | |
| (ご参考)前期実績 (2018年3月期) | 89,515 | 6,264 | 5,427 | 5,640 | 345.30 |

3. 差異が生じた理由および修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、『国内食品事業』では、今春に全面リニューアルを実施した「リケンのノンオイル セレクティ®」が、積極的なプロモーション活動を展開したものの市場への浸透が進みませんでした。また、豪雨や猛暑などの影響による野菜価格の高騰等により、市販ドレッシング全体でも前年同期より売上が減少しました。

他方、海外事業においては、『改良剤』分野では販売競争の激化、『青島福生食品』では構造改革の遅れに加え、売掛金の回収状況などを踏まえた貸倒引当金の計上等により、収益の回復には至りませんでした。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は当初予想に近い着地となったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想を下回りました。

また、通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の結果および最近の業績動向を踏まえると、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を下回る見通しとなりました。

以上